

“ 共存共栄 ”

- global
- creative
- originality
- multiple
- speed & power



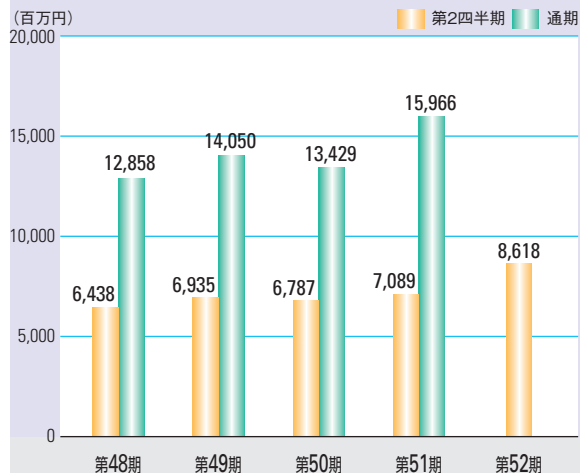
第52期中間事業報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

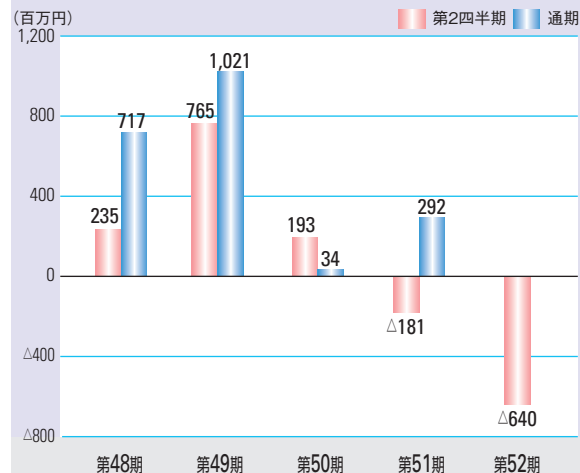


財務ハイライト

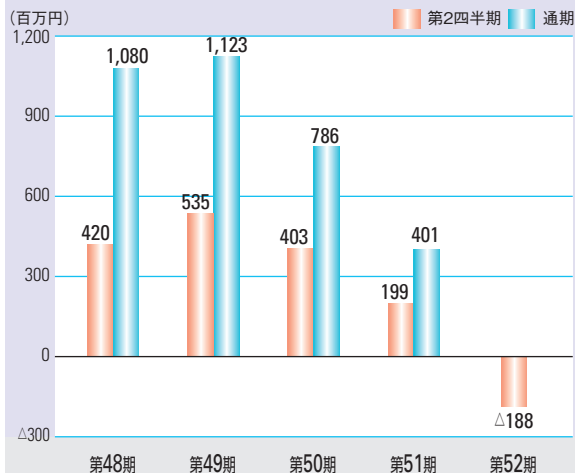
売上高



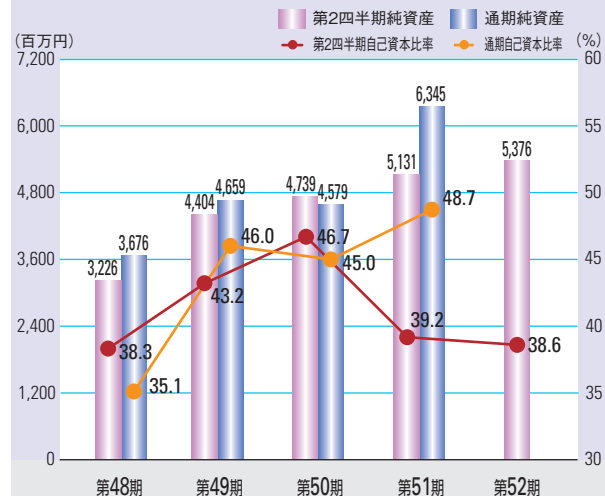
純利益



経常利益



純資産・自己資本比率





代表取締役社長

稲吉 史 泰

手頃な価格でおいしい食事を提供し、快適な食生活を楽しんでもらいたい。日本の味覚を、いつでも、気軽に楽しめるようにしたい。

創業以来42年、変わることなく抱き続けて参りました。

「株式会社ジー・テイスト」は、食のパイオニア企業として、21世紀の豊かな食文化の創造に貢献して参ります。

■ 経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きが弱まっている状態が続き、依然株価の低迷や景気の先行きに対する不透明感から引き続き厳しい環境で推移しております。

このような状況下、当社は、売上に対する管理コストの削減、事業上のシナジー効果を目的として、平成22年5月27日にフード インクルーヴ株式会社を吸収合併することを決議し、同年7月1日に吸収合併しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間末の直営店舗・校舎数は280店舗、FC店舗数は331店舗となり、当第2四半期累計期間におきましては、売上高86億18百万円（前年同四半期比21.6%増）、営業損失2億53百万円（前年同四半期は1億14百万円の営業利益）、経常損失1億88百万円（前年同四半期は1億99百万円の経常利益）となり、四半期純損失は6億40百万円（前年同四半期は1億81百万円の四半期純損失）となりました。

① 寿司事業

寿司事業においては、FC店舗3店舗を海外出店した一方で、FC店舗4店舗の撤退により、当第2四半期累計期間末の直営店舗数は86店舗、FC店舗数は26店舗となりました。また、お客様の来店動機を高める目的で7月は「逸品紀行」、8月及び9月は「厳選 旨味祭」等の期間限定フェア等を開催したほか、グランドメニューの変更により、旬の食材をお客様に提供いたしました。競合店との競争激化や消費者の節約志向の高まりにより来店客数が減少した結果、売上高30億89百万円、営業利益96百万円となりました。

② 居酒屋等事業

居酒屋等事業においては、フード インクルーヴ株式会社との合併に伴い12店舗、FC加盟店203店舗増加したほか、4店舗を新規出店しました。また不採算店舗8店舗を閉店、さらに、6店舗で業態を変更し、当第2四半期累計期間末の直営店舗数は158店舗、FC店舗は305店舗となりました。また、主要業態である「とりあえず吾平」「ちゃんこ江戸沢」のグランドメニューを見直し、フェアメニューを投入した結果、売上高52億39百万円、営業利益52百万円となりました。

③ 教育事業

教育事業につきましては、当第2四半期累計期間末の教育事業直営校舎はFC加盟店より2校舎を譲り受け36校舎となり、NOVAうさぎのテレビコマーシャルの復活等キャンペーン及びイベントの実施により、売上高2億89百万円、営業利益30百万円となりました。

次期の見通し

寿司、居酒屋両事業においてグランドメニューの見直しや期間限定のフェアを開催するなど、お客様の来店動機を高める施策を実行して参りましたが、先行きに対する不透明感を背景とした個人消費の低迷や競合店との競争激化などの理由により既存店売上高が落ち込みました。一方で平成22年7月1日にフード インクルーヴ株式会社を吸収合併しました。合併による売上高に対する管理コストの低減及び事業上のシナジー効果は、売上高増加要因と、競合店との競争激化等による既存店の売上高減少要因がほぼ相殺される見通しとなりましたが、景気改善の弱まっている状態が続いていることから、売上高の落ち込みが今後も予想されます。その結果、平成22年11月12日に修正発表を行い、平成23年3月通期見通しを売上高177億49百万円、営業損失59百万円、経常利益1億18百万円、当期純損失3億80百万円としております。

財務諸表

■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	1,365	1,102
現金及び預金	278	276
受取手形及び売掛金	256	135
商品	22	29
原材料及び貯蔵品	148	140
その他	666	522
貸倒引当金	△ 8	△ 1
固定資産	12,576	11,939
有形固定資産	5,677	5,125
建物 (純額)	3,283	2,785
土地	1,926	1,926
その他 (純額)	467	413
無形固定資産	1,721	1,791
のれん	1,648	1,749
その他	72	42
投資その他の資産	5,177	5,022
敷金及び保証金	3,946	3,812
その他	1,406	1,222
貸倒引当金	△ 174	△ 12
資産合計	13,941	13,042

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債	4,529	3,784
買掛金	581	504
短期借入金	2,825	2,141
未払法人税等	75	73
引当金	6	18
資産除去債務	3	—
その他	1,037	1,047
固定負債	4,035	2,912
社債	90	105
新株予約権付社債	895	895
長期借入金	1,424	1,215
退職給付引当金	78	85
債務保証損失引当金	7	12
資産除去債務	629	—
その他	909	599
負債合計	8,564	6,696
純資産の部		
株主資本	5,377	6,345
資本金	1,274	1,274
資本剰余金	2,165	2,165
利益剰余金	1,938	2,905
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	△ 1	△ 0
その他有価証券評価差額金	△ 1	△ 0
純資産合計	5,376	6,345
負債純資産合計	13,941	13,042

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,004	4,603
売上原価	1,384	1,682
売上総利益	2,620	2,921
販売費及び一般管理費	2,584	3,016
営業利益又は営業損失(△)	36	△ 95
営業外収益	124	150
営業外費用	82	120
経常利益又は経常損失(△)	78	△ 64
特別利益	15	28
特別損失	335	0
税引前四半期純損失(△)	△ 241	△ 36
法人税、住民税及び事業税	△ 25	25
法人税等調整額	1	△ 3
四半期純損失(△)	△ 217	△ 58

（注）記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

区 分	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,089	8,618
売上原価	2,530	3,090
売上総利益	4,558	5,527
販売費及び一般管理費	4,444	5,781
営業利益又は営業損失(△)	114	△ 253
営業外収益	212	255
営業外費用	126	190
経常利益又は経常損失(△)	199	△ 188
特別利益	17	36
特別損失	367	337
税引前四半期純損失(△)	△ 149	△ 489
法人税、住民税及び事業税	36	48
法人税等調整額	△ 5	103
四半期純損失(△)	△ 181	△ 640

（注）記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 251	△ 179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 768	318
財務活動によるキャッシュ・フロー	83	△ 732
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 936	△ 593
現金及び現金同等物の期首残高	969	276
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	98	474
現金及び現金同等物の四半期末残高	131	158

（注）記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社の主な業態についてご紹介します

—— 当社は回転寿司、居酒屋並びに教育事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々、そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。——



創業42年。回転寿司のパイオニア『平禄寿司』。

美味しいお寿司を手頃な価格で楽しんでもらいたいと

の想いを持って一皿一皿に心を込めてご提供しております。

定番メニューの他に季節限定商品、店長のおすすめ、アラカルトなど四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。また、便利な宅配サービス（一部店舗のみ）も行っております。



旨い！安い！早い！がモットーのダイニングレストラン

『とりあえず吾平』。全国に130以上ある店舗では、季節ご

とにお客様へ新しい商品の提案を行っております。ヤング

からミドルまでのファミリー層をメインターゲットとして、100品以上のバラエティー豊かなフード、100種類以上のドリンクと良心的な価格が支持され、業績を伸ばしております。





伝統ちゃんこ鍋の自慢は、相撲部屋直伝のレシピに独自の改良を加えたこだわりの極旨スープです。鍋の中では、新鮮で安全な野菜をはじめ自然の恵みをたっぷりうけた鶏や

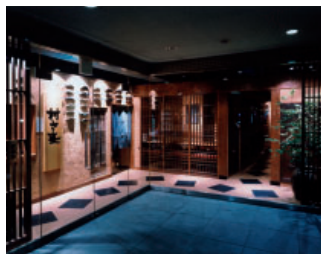
豚肉、フレッシュな魚介類など素材同士がゆっくりとそれぞれの味わいを醸しだします。鍋の中で繰広げられるこのコラボレーションはまさに絶品の一言です。定番のちゃんこ鍋以外にもアラカルト・メニューも多数取り揃えてお客様のご来店をお待ちしております。



耐ハイを生み出した居酒屋の老舗『村さ来』。

耐ハイブームの元祖として開店から35年、昔懐かしい造りの落ちつく空間で、季節のおすすめメニューと心温まる接客でおもてなし致します。

現在、全国で約200店舗が営業しておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。





『アントニオ猪木』をメインキャラクターにした日本中を元気にするテーマレストランです。懐かしのプロレス映像

が店内に流れる中、プロレス技や選手名からネーミングされたボリューム満点のメニューをご提供しております。また、店内はアントニオ猪木ミュージアム・ショップにもなっており、ここでしか買えない闘魂グッズやお酒など、オフィシャル店ならではの商品を取り揃えております。



海鮮問屋 地魚屋

『地魚屋』は素材にこだわります。季節ごとの旬魚を使用した『地魚屋名物 大皿盛り』を始め、日本全国から探し

求めた究極の旬の食材。熟練の料理人がこれら素材の味を前面に引き出します。広々とした店内には、人数に合わせてご利用できる様々なタイプの個室をご用意しております。心を許すお友達と珠玉のお時間をお過ごし下さい。



■ 当社株式 貸借銘柄に選定

当社株式は、大阪証券金融株式会社から平成22年10月12日、貸借銘柄に選定され同日よりJASDAQ市場において貸借取引が開始されております。貸借銘柄の選定は、当社株式の流動性及び需給関係の向上により公正な価格形成に資するものと考えております。

■ フード インクルーヴ株式会社と合併

居酒屋のFC展開を行うフード インクルーヴ株式会社と平成22年7月1日に合併いたしました。合併により「村さ来」をはじめとする「手羽藩」「ZESSAN」「海宴丸」の4ブランドが新たに加わりました。

■ 「手羽藩」FC展開を開始

鶏料理専門店として注目を集めていたブランド「手羽藩」がついにFC展開。

3店目である福島桑野店がFC出店1号店として平成22年10月28日にオープンいたしました。

連日ご好評をいただいております、多店化に向けてバックアップ体制を強化しております。

■ 「てんてけてん」2号店も好評、多店舗展開に向け営業中

全品300円均一とタッチパネルでのご注文、その気軽さが魅力の「てんてけてん」。

「てんてけてん」自慢の一品の炭火でこんがり焼きあげた焼き鳥と創作和食をゆったり個室でお楽しみいただけます。

平成22年9月8日、東京都江戸川区葛西に待望の2号店を出店いたしました。

■「ちゃんこ江戸沢」全店に焼きちゃんこ鍋導入

実験店にてご好評いただいております「焼きちゃんこ鍋」を平成22年10月25日に全店導入いたしました。秘伝の極旨スープでいただく伝統の「ちゃんこ鍋」とみんなが大好き「焼肉」がコラボ。

人気の美味しさをダブルでお楽しみいただけます。

江戸沢はこれからも「ちゃんこ鍋」の新しいスタイルをご提案いたします。



■海外出店を加速

平成22年7月1日、中国・上海に新たにオープンした商業施設内に上海IMAGO店をオープン。続いてアジア圏外初となるオーストラリアに平成22年7月18日 オーストラリア ゴールド・コースト店がオープンしております。

現在までに海外に5店舗を展開、今後もさらなる出店を見込んでおります。

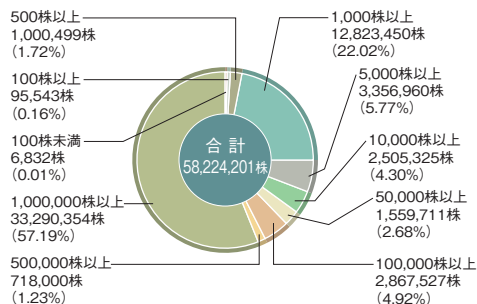
株式の状況／会社情報

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

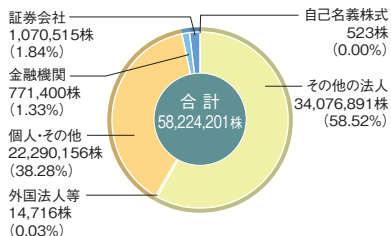
発行可能株式総数…………… 90,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 58,224,201 株
 株主数…………… 13,064 名
 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ジー・コミュニケーション	31,973	54.91
ジー・テイスト取引先持株会	1,316	2.26
江川春延	718	1.23
株式会社SBI証券	471	0.81
江川進興	425	0.73
マネックス証券株式会社	337	0.58
株式会社十七銀行	324	0.56
東金次	219	0.38
株式会社生活考房	196	0.34
明治安田生命保険相互会社	144	0.25

所有株式数別株式構成比率



所有者別株式構成比率



会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
 会社設立日 昭和34年11月25日
 資本金 1,274,628千円
 事業内容 1. 回転寿司店の経営
 2. 居酒屋店の経営
 3. 各種教室の経営
 4. 関連商品の販売

役員 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	稲川 吉	史 泰
常務取締役	川 上	一 郎
取締役	伊 藤	雄 正
取締役	扇 木	清 司
取締役	加 藤	貴 晴
取締役	岡 本	正 美
監査役	星 小	加 子
監査役	佐 藤	

ホームページのご案内



ホームページ▼
<http://www.g-taste.co.jp/>

当社のホームページでは、第52期中間事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。是非、一度ご覧下さい。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日

配当金の基準日 期末配当金 毎年3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.g-taste.co.jp>

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042

仙台市若林区大和町5-33-18

TEL: (022) 237-5566 FAX: (022) 237-5570

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste